

株主優待制度のお知らせ

毎年3月末日現在の株主の皆様に対し、優待券を年1回、以下の基準により贈呈いたしております。

● 贈呈基準

- ご所有株式数1,000株以上の株主の皆様に対し、
 - ①一律20,000円相当の食事券（1枚500円の食事券、40枚）
 - ②コシヒカリ10kg
- ご所有株式数500株以上1,000株未満の株主の皆様に対し、
 - ①一律10,000円相当の食事券（1枚500円の食事券、20枚）
 - ②コシヒカリ5kg
- ご所有株式数100株以上500株未満の株主の皆様に対し、
 - ①一律2,000円相当の食事券（1枚500円の食事券、4枚）それぞれ①もしくは②のいずれか1つをお選びいただけます。

● 利用方法

当社グループ店舗（幸楽苑、和風厨房 伝八）でご利用いただけます。

● 有効期限

発行日より1年間



ホームページもご覧ください。

<http://www.kourakuen.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先)※	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（フリーダイヤル）0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
新券交付手数料	50円に印紙税相当額を加算した金額
単元株式数	100株
単元未満株式買取	上記株主名簿管理人の事務取扱場所及び取次所 なお、株券の保管振替制度ご利用の場合は、お取引 のある証券会社にお申し出ください。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

※住所変更、配当金振込指定、単元未満株式買取請求等、株式事務に関するお問合せは、こちらまでご連絡ください。

第38期 中間期報告書

2007年4月1日から2007年9月30日まで

38th Semiannual Business Report



 **KOURAKUEN**

株式会社 幸楽苑 〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
Tel.024-943-3351 Fax.024-943-3726

ホームページアドレス <http://www.kourakuen.co.jp/>

 **KOURAKUEN**

証券コード 7554



代表取締役社長
新井田 傳

経営理念

一、より多くの人々の
よりふだんの食の場面に
よりおいしい味で
より低い価格の商品を
より速いスピードで
提供することに私達は喜びを持とう

二、働く人達が
やりがいと
生涯設計の
もてる会社に
しよう



増益体質の実現に向けて

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、輸出関連を中心とした企業収益の改善を背景に、設備投資の増加や雇用環境の改善などが概ね好調に推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、米国経済の減速や原油をはじめとする資源の高騰など先行きに不透明感もあり、個人消費は改善の兆しはあるものの底堅く推移しております。

外食産業におきましては、少子高齢化等により市場規模が縮小しているものの、下げ幅は鈍化傾向となっております。しかし、原油価格の高騰、人手不足や人材難が拡がっており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、事業の拡大を推し進めるとともに、収益性及び利益率の改善を重要課題として、営業利益率向上に向けた諸施策を実施してまいりました。

当社グループの中核事業であるラーメン事業においては、客層を広げるとともに客単価の向上対策として、「とんこつらーめん」や「和風中華そば」、サイドメニューとして「カレー」や「カレーセット」等の新メニューを導入し、商品力の強化を実施してまいりました。この結果、当中間連結会計期間における直営既存店の客単価は、前中間連結会計期間比3.1%の増加となりましたが、直営既存店の客数は、同5.3%の減少となりました。

店舗展開につきましては、新規に直営店「幸楽苑」24店舗を出店いたしました。地域別には、既存商勢圏の東北及び関東を中心とした出店となり、茨城県へ5店舗、新潟県、千葉県、秋田県へ各3店舗、福島県、神奈川県、青森県へ各2店舗、その他4都県へ各1店舗出店いたしました。また、スクラップを直営店2店舗（東京都：東長崎店、中野サンプラザ前店）で実施いたしました。なお、当中間連結会計期間末の店舗数は、直営店351店舗、フランチャイズ加盟店26店舗の合計店舗数377店舗（前中間連結会計期間末比39店舗増）となり、業態別には「幸楽苑」377店舗となりました。

生産設備関連では、店舗数の増加並びにグループ1,000店舗体制の構築に向け、第三工場となる京都工場（京都府京田辺市）の製麺ラインでの生産を開始いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は16,405百万円（前中間連結会計期間比5.9%増）となり、営業利益は550百万円（同55.0%増）、経常利益は574百万円（同43.5%増）、中間純利益は減損損失等の特別損失520百万円を計上した結果、7百万円（前中間連結会計期間は、中間純損失149百万円）となり増収増益となりました。

また、当中間連結会計期間末のグループ店舗数は381店舗（前中間連結会計期間末比36店舗増）となりました。

株主の皆様には、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年12月

Contents	●株主の皆様へ..... 1	●中間連結財務諸表..... 8	●株式の状況..... 11
	●中間連結決算ハイライト..... 2	中間連結貸借対照表	●会社の概要..... 12
	●トップインタビュー..... 3	中間連結損益計算書	●店舗一覧..... 13
	●トピックス..... 6	中間連結キャッシュ・フロー計算書	
	●中間連結業績概要..... 7	中間連結株主資本等変動計算書	
		関連会社の概要	

商品力の強化、客層拡大・客単価の改善 ドミナント化(集中出店)の推進による利益率の改善 既存商勢圏への出店強化、ショッピングセンターへの出店強化 母店制度・マイスター制度導入による店舗サービス・オペレーションの向上 パートナーの正社員登用・女性店長の育成による店舗サービスの向上

Points-①

客層を広げるとともに客単価の向上対策として、「とんこつらーめん」や「和風中華そば」、サイドメニューとして「カレー」や「カレーセット」等の新メニューを導入し、商品力の強化を実施してまいりました。この結果、当中間連結会計期間の直営店客単価は、前中間連結会計期間比2.9%増の588円（前中間連結会計期間は、572円）となりました。

Points-②

出店エリアを拡大せず、現在の28都府県の既存商勢圏への出店を強化いたしました。主に、関東及び東北を中心とし、小商圏（人口3万人）へも出店いたしました。茨城県へ5店舗、新潟県、千葉県、秋田県へ各3店舗、福島県、神奈川県、青森県へ各2店舗、その他4都県へ各1店舗出店し、計24店舗の新規出店を実施いたしました。上記24店舗の新規出店のうち、新たな出店形態として、ショッピングセンター内のフードコートへ8店舗出店いたしました。また、スクラップを直営店2店舗で実施いたしました。なお、当中間連結会計期間末のグループ店舗数は、381店舗（前中間連結会計期間末比36店舗増）となりました。

Points-③

店舗のサービスレベルの向上を図るため、「母店制度」を導入いたしました。ブロック単位での店舗運営管理体制をより効果的なものとするため、各ブロック内にモデル店舗を設定し、「母店」を中心とした店舗運営管理体制に移行いたしました。モデル店舗として、QSC（クオリティ・サービス・クリンリネス）の基準においてブロック内の各店舗の模範となるべき店舗運営管理体制を構築しております。

Points-④

店舗オペレーションの技術の普及と継承を図るため、「マイスター制度」を導入いたしました。全店的に影響を与える高度なオペレーション技術を有するパートナーを「マイスター」に認定し、その技術の普及と継承を図る制度であります。店舗会議等でのデモンストレーション・発表、各店舗でのOJT指導、各種研修でのデモンストレーション・講義等を実施し、店舗オペレーションの技術の向上を図り、客数の回復対策を実施しております。

Points-⑤

労働力の確保・女性の社会進出の一環として、さらに、ブロック・インテント制を補完するものとして、女性店長の育成を推進してまいりました。パートナーからの正社員登用・女性店長の育成を積極的に実施し、店舗でのサービスやオペレーションの向上に努めてまいりました。

ドミナント化を積極的に推し進め、 価格競争力のある製造直販業として、 効率的な経営体制の確立を推進してまいります。



代表取締役社長
新井田 博

Questions

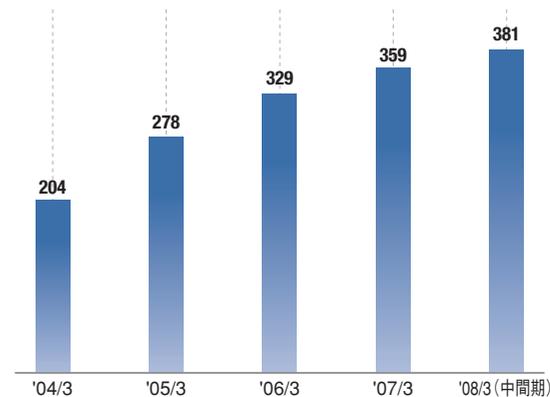
当中間連結会計期間の業績をお聞かせください。

「第三の創業元年」と位置付け、 収益性及び利益率の改善に傾注

2008年3月期(平成20年3月期)を「第三の創業元年」と位置付け、収益性及び利益率の改善を重要課題とし、店舗の営業利益率向上に向けた商品政策や出店政策等の諸施策を実施してまいりました。

商品面においては、より客層の幅を拡げ、安心して食される高付加価値商品を開発するとともに、サイド商品の充実を図り、「日常食」として支持される商品構成を構築するとともに、店舗展開につきましては、当中間連結会計期間においては、当初新規出店直営店23店舗を計画しておりましたが、実績は24店舗出店することができました。また、地域別では、現在の商勢圏(28都府県)内へ

店舗数推移



の出店を強化するとともに、小商圏(人口3万人)への出店によるドミナント化を推し進め、ドミナント化による店舗の認知度向上、店舗作業や店舗経費負担の軽減等による利益率の改善を図ってまいりました。さらに、グループ1,000店舗の実現に向け、ショッピングセンター等への出店も本格化しております。

また、ブロック単位での店舗運営管理体制をより効果的なものとするため、「母店制度」を設け、各ブロック内に1店舗をモデル店舗として「母店」を設定し、「母店」を中心とした店舗運営管理体制に移行するとともに、「マイスター制度」を導入、労働力の確保・女性の社会進出の一環として、パートナー(パート・アルバイト)からの正社員登用・女性店長の育成を積極的に実施し、店舗でのサービスやオペレーションの向上に努めてまいりました。

この結果、原価率の低減(31.0% → 30.6%:0.4%改善)・利益率の改善(営業利益率2.3% → 3.4%:1.1%改善、経常利益率2.6% → 3.5%:0.9%改善)し、当中間連結会計期間の売上高は16,405百万円(前中間連結会計期間比 5.9%増)、営業利益は550百万円(同55.0%増)、経常利益は574百万円(同 43.5%増)、中間純利益は減損損失等の特別損失 520百万円を計上した結果、7百万円(前中間連結会計期間は、中間純損失149百万円)となり、増収増益となりました。

Questions

中長期経営計画の柱に掲げております
「グループ1,000店舗体制」に向けての進捗状況は
いかがでしょうか？

新たな出店形態と供給体制の構築

当中間連結会計期間末のグループ店舗数は381店舗となり、今後2年以内に500店舗体制を構築できる見込みとなりました。

2007年3月期において新たな出店形態として、ショッピングセンター内のフードコートへ3店舗出店し、さらに、当中間連結会計期間においては、新たに8店舗出店いたしました。フードコートへの出店は、「グループ1,000店舗体制」の実現に向け、大きな役割を果たすものと考えております。

また、2007年6月には第三工場となる京都工場(京都府京田辺市)において、製麺生産ラインを稼動しております。京都工場は、現在、製麺生産ライン1ラインの稼動となりますが、「グループ1,000店舗体制」に向け、今後の新規出店の再加速を睨み、西日本地区の生産拠点として重要な位置付けとなり、今後の出店状況

に応じて生産ラインの新・増設を予定しております。全生産ラインの完成時には、約350店舗分の食材供給能力が確保される見込みであり、郡山工場及び小田原工場、京都工場の3工場体制により、1,000店舗への供給体制が構築されます。

Questions

客数向上のための具体的な施策をお聞かせください。

QSCレベルの向上・効果的な販売促進

既存店客数の前年対比が、2007年5月以降マイナスとなっております。特に、準既存店(オープン13ヶ月以上25ヶ月未満稼働店舗)の前年対比が大幅なマイナスとなっております。

約2年前に新規出店いたしました準既存店は、新たな商勢圏へ出店した店舗であり、認知度が低いことが最大の要因と考えております。また、店舗でのサービスレベル・オペレーションレベルが低下していることもマイナス要因のひとつであります。

今後、既存店の客数回復に向けた現場改善として、2007年3月期より実施している営業会議の開催や店舗インセンティブ制度によるモチベーションの向上とともに、「母店制度」や「マイスター制度」の導入による店舗でのサービスやオペレーションの向上に努めてまいります。

また、メニュー対策として、味の改善とともに、価値観のあるメニューの開発を推進してまいります。さらに、認知度向上対策として、地域を限定した効果的な販売促進活動を積極的に実施し、客数の増加を図ってまいります。

Questions

出店エリア拡大とドミナント化の達成状況について
お聞かせください。

新商勢圏への出店抑制・小商圏への出店

当中間連結会計期間末の出店エリアは、28都府県となっており、新たな出店エリアへは出店していません。出店エリアを拡大したことにより、人件費や物流費、販促・広告宣伝費等が増加し、利益率の悪化を招きました。これを踏まえて、当中間連結会計期間においては、既存の商勢圏内での出店となりました。

また、小商圏(人口3万人)への出店については、特に、福島県や青森県、秋田県等への出店を加速しており、さらに、フードコート

への出店により、既存商勢圏内への出店も可能となり、「点」の出店から「面」の出店へ移行しております。

この結果、20店舗以上の出店エリアは8都県(福島県51店舗、埼玉県37店舗、千葉県35店舗等)となり、認知度がさらに向上するとともに、店舗経費等の負担が減少し、利益率の改善が図られております。

Questions

通期の見通しについてお聞かせください。

収益性及び利益率の改善を継続

今後の見通しにつきましては、原油、穀物など原燃料価格の高騰等により、家計の購買力をそぎ、個人消費の下振れ懸念もあり、外食産業におきましては、少子高齢化に伴う市場低迷等、一段と厳しい環境になるものと思われます。

当社グループは、こうした状況を踏まえて、収益性及び利益率の改善を重要課題とし、店舗でのサービスやオペレーションの向上を図るとともに、生産効率の改善及びコスト削減に努め、営業利益率向上に向けた諸施策を実施してまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高34,245百万円(前年対比9.0%増)、営業利益は1,523百万円(同39.1%増)、経常利益は1,531百万円(同33.6%増)、当期純利益は300百万円(同179.5%増)の増収増益を見込んでおります。



株主の皆様にご挨拶を申し上げます。

配当水準の向上と安定化

当社は、株主に対する配当方針を重要政策のひとつと考えており、株主資本の拡充と同利益率の向上を図るとともに、配当水準の向上と安定化に努める方針であります。内部留保による資金は、新規店舗出店に充当することを予定しており、将来的には収益性の向上を図り利益還元を行う予定であります。

なお、当中間連結会計期間の剰余金の配当については、平成19年11月2日開催の当社取締役会において中間配当として1株当たり10円の配当を決議しております。また、期末配当については、1株当たり10円の配当を予定しており、1株当たり年間20円の剰余金の配当を予定しております。

また、株主優待制度については、毎年3月31日現在の株主の皆様に対し、優待券を年1回、次の基準により贈呈しております。

●贈呈基準

1. ご所有株式数1,000株以上の株主の皆様に対し、
 - ① 一律20,000円相当の食事券(1枚500円の食事券、40枚)
 - ② コシヒカリ10kg
2. ご所有株式数500株以上1,000株未満の株主の皆様に対し、
 - ① 一律10,000円相当の食事券(1枚500円の食事券、20枚)
 - ② コシヒカリ5kg
3. ご所有株式数100株以上500株未満の株主の皆様に対し、
 - ① 一律2,000円相当の食事券(1枚500円の食事券、4枚)
 それぞれ①もしくは②のいずれか1つをお選びいただけます。

●利用方法

当社グループ店舗(幸楽苑、和風厨房伝八)でご利用いただけます。

●有効期限

発行日より1年間

新たならーめん業態「天下無双」の実験着手

無化調らーめん

高齢化を迎える今、いかにその時代背景に対応した商品を開発できるかが外食産業の勝負の分かれ目と言われております。新業態「天下無双」は、「無化調」という武器による新たならーめん業態の実験に着手いたしました。

コンセプトは、化学調味料を一切使わない自然素材のらーめんを使用し、それでいて外食らしさを失わない本格的な味づくりを実現し、その訴求ができた新業態が「天下無双」です。

「天下無双」という言葉は、『世の中で二つとない、並ぶものがないほど優れている。』という意味です。正に、素材にこだわり、計算された味のバランスを実現した商品は、外食業界でも稀有な存在といえます。

天下無双の最大の武器は、「無化調」であります。「無化調」は、新たな造語として、商標登録をしたものであります。化学調味料を一切使用せず、素材の本来の旨みや甘みを生かし、それをバランスよく調整する技術は幾度となく繰り返されてきた試作の賜物であります。

新メニュー紹介



とんこつらーめん

とんこつらーめんの魅力は、徹底してガラを炊き出すことによるエキスと脂肪、そしてゼラチンの一体感であり、その乳化したクリーミーなスープの味わいにあります。しかし、そのスープを使い続けると酸化により独特の香りが出てきます。この香りについては、嗜好性が強く、好みが分かれるため、当社では徹底してこの香りを抑えております。塩や淡口醤油でタレを仕上げることの多いとんこつのタレに、あえて醤油を用い、当社独自の味「醤油とんこつ」に仕上げました。クリーミーかつ濃厚なスープの味を堪能していただける商品です。

ショッピングセンターへの出店強化

フードコートへの出店検証・強化

当社は、中長期経営計画として、「グループ1,000店舗体制」を掲げております。その一環として、2007年3月期に新たな出店形態として、ショッピングセンター内のフードコートへ3店舗出店いたしました。さらに、当中間連結会計期間においては、新たに8店舗出店いたしました。

フードコートへの出店は、「グループ1,000店舗体制」の実現に向け、大きな役割を果たすものと考えております。フリー・スタンディング(ロードサイド)方式と立地が異なり、既存商勢圏内への出店も可能となり、よりドミナント化を推し進め、ドミナント化による店舗の認知度向上が図れるものと考えております。また、店舗投資や店舗作業の低減、店舗経費負担の軽減等により、利益率の改善が図れるものと考えております。



中間連結業績概要

売上高

新規出店24店舗、フードコートへの出店加速

新規に直営店「幸楽苑」24店舗を出店いたしました。地域別には、既存商圏の東北及び関東を中心とした出店となり、主な出店地域として茨城県5店舗、新潟県、千葉県、秋田県へ各3店舗それぞれ出店し、スクラップを直営店2店舗で実施いたしました。また、新たな出店立地として、ショッピングセンター内のフードコートへの出店を加速し、新規出店24店舗中、8店舗がフードコートへの出店となりました。この結果、売上高は16,405百万円(前中間連結会計期間比5.9%増)となりました。

なお、各セグメント別の売上高は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
ラーメン事業	15,079	16,170
その他外食事業	328	203
その他の事業	78	31
合計	15,485	16,405

経常利益／中間純利益

1年振り経常利益・中間純利益増益

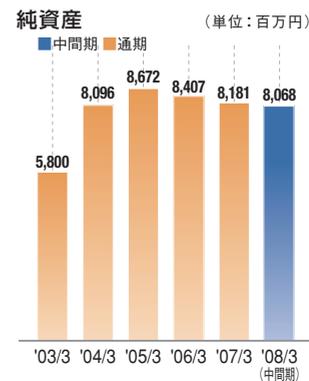
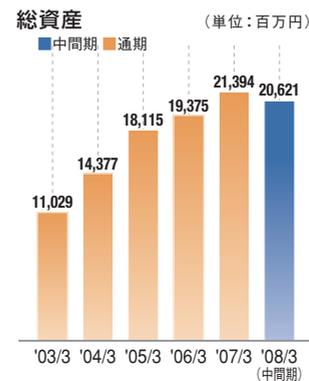
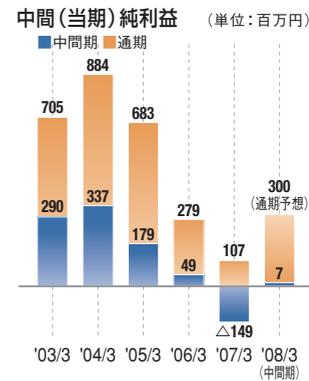
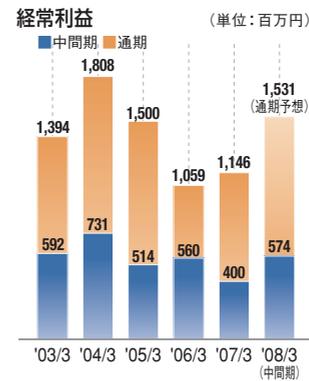
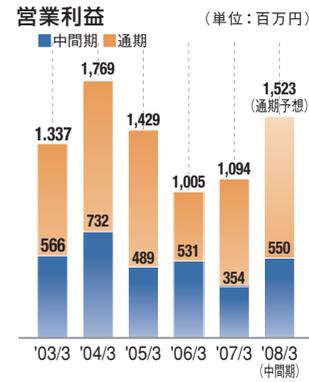
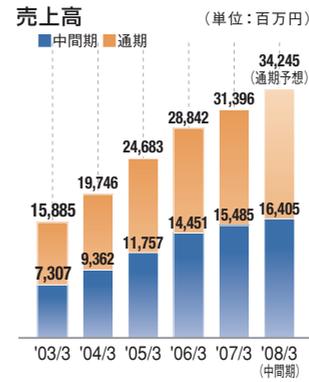
店舗でのサービスやオペレーションの向上を図るとともに、メニュー改革、生産効率の改善及びコスト削減に努めた結果、売上原価率が0.4ポイント改善し、また、販売費及び一般管理費比率が0.7ポイント改善いたしました。この結果、営業利益は550百万円(前中間連結会計期間比55.0%増)、経常利益は574百万円(同43.5%増)と増益となりました。

中間純利益は、減損損失等の特別損失520百万円を計上した結果、7百万円(前中間連結会計期間は、中間純損失149百万円)となりました。

総資産

余剰資金の運用等により減少

当中間連結会計期間末における総資産の残高は、前中間連結会計期間末に比べ1,593百万円減少し、20,621百万円(前中間連結会計期間末比7.1%減)となりました。主な減少要因は、余剰資金を借入金等の返済に充当したことによるものであります。



中間連結財務諸表

●資産の部

流動資産につきましては、現金及び預金は前中間連結会計期間末に比べ1,666百万円減少し、2,832百万円(前中間連結会計期間末比37.0%減)となりました。これは、新規出店資金として運用したことによるものであります。また、売掛債権は前中間連結会計期間末に比べ129百万円減少し、83百万円(同60.7%減)となりました。これは、建築施工管理及び厨房機器等の販売を営む連結子会社の当社への吸収合併及びフランチャイズ加盟店の新規出店数の減少によるものであります。

固定資産につきましては、有形固定資産は前中間連結会計期間末に比べ446百万円減少し、9,654百万円(同4.4%減)となりました。これは、店舗資産の減損処理等によるものであります。また、投資その他の資産は前中間連結会計期間末に比べ620百万円増加し、7,029百万円(同9.6%増)となりました。これは、新規出店及び工場の投資によるものであります。

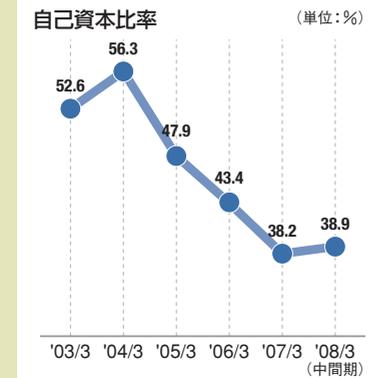
●負債の部

当中間連結会計期間末における負債の残高は、前中間連結会計期間末に比べ1,574百万円減少し、12,552百万円(前中間連結会計期間末比11.1%減)となりました。主な減少要因は、次のとおりであります。

借入金につきましては、一年内返済長期借入金及び長期借入金の合計額は前中間連結会計期間末に比べ1,092百万円減少し、4,486百万円(同19.5%減)となりました。また、転換社債の繰上償還請求により社債は前中間連結会計期間末に比べ580百万円減少し、2,420百万円(同19.3%減)となりました。

●純資産の部

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、前中間連結会計期間末に比べ18百万円減少し、8,068百万円(前中間連結会計期間末比0.2%減)となりました。



中間連結貸借対照表

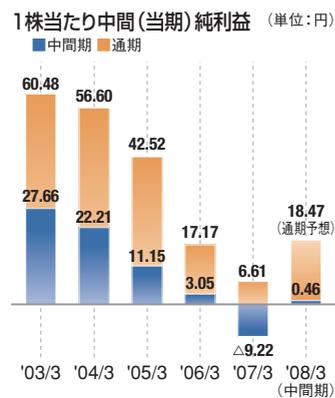
(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間末 (2006年9月30日現在)	当中間連結会計期間末 (2007年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	5,571,831	3,790,938
現金及び預金	4,499,529	2,832,805
売掛金	213,460	83,744
たな卸資産	211,904	208,995
その他	646,937	665,392
固定資産	16,643,349	16,830,672
有形固定資産	10,100,933	9,654,270
無形固定資産	133,627	146,739
投資その他の資産	6,408,787	7,029,662
資産合計	22,215,181	20,621,610
負債の部		
流動負債	5,875,391	5,832,779
買掛金	1,959,663	1,839,495
一年内返済長期借入金	1,092,192	1,063,512
未払法人税等	337,434	342,581
未払消費税等	148,449	161,950
未払費用	1,563,124	1,664,634
その他	774,527	760,605
固定負債	8,252,252	6,720,109
社債	3,000,000	2,420,000
長期借入金	4,486,904	3,423,392
負債合計	14,127,644	12,552,888
純資産の部		
株主資本	8,083,818	8,022,621
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,196	2,658,174
利益剰余金	2,782,170	2,722,001
自己株式	△18,210	△19,217
評価・換算差額等	3,718	800
その他有価証券評価差額金	3,718	800
新株予約権	—	45,300
純資産合計	8,087,536	8,068,721
負債・純資産合計	22,215,181	20,621,610

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

●売上総利益

売上総利益率は、メニュー改革による客単価の向上、生産効率の改善及びコスト削減により、前中間連結会計期間比0.4ポイント改善し69.4%となりました。また、金額ベースでは、11,381百万円(前連結会計年度比6.5%増)となりました。



●営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ188百万円収入が減少し、839百万円の収入となりました。これは、仕入債務・未払費用の増加やその他負債の減少によるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ704百万円支出が減少し、209百万円の支出となりました。これは、定期性預金の払出による収入が増加したことによるものであります。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べ3,394百万円支出が増加し、1,283百万円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出が前中間連結会計期間に比べ増加したこと、及び転換社債の繰上償還請求による社債の償還による支出が580百万円となったことによるものであります。

中間連結損益計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
売上高	15,485,856	16,405,562
売上原価	4,801,005	5,024,560
売上総利益	10,684,851	11,381,001
販売費及び一般管理費	10,330,136	10,830,857
営業利益	354,715	550,144
営業外収益	77,227	87,487
営業外費用	31,270	62,653
経常利益	400,671	574,978
特別利益	13,507	41,515
特別損失	341,751	520,048
税金等調整前中間純利益	72,428	96,445
法人税、住民税及び事業税	270,350	301,610
過年度法人税等	32,400	-
法人税等調整額	△80,395	△212,663
中間純利益又は中間純損失(△)	△149,926	7,498

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前中間連結会計期間 (2006年4月1日から 2006年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2007年4月1日から 2007年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028,344	839,517
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914,006	△209,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,111,098	△1,283,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	2,225,437	△653,664
現金及び現金同等物の期首残高	2,097,382	1,809,769
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,322,819	1,156,105

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	株主資本					その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
2007年3月31日残高	2,661,662	2,658,196	2,877,052	△18,898	8,178,013	3,267	3,267	-	8,181,281
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当	-	-	△162,549	-	△162,549	-	-	-	△162,549
中間純利益	-	-	7,498	-	7,498	-	-	-	7,498
自己株式の処分	-	△21	-	143	121	-	-	-	121
自己株式の取得	-	-	-	△462	△462	-	-	-	△462
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△2,467	△2,467	45,300	42,832
中間連結会計期間中の変動額合計	-	△21	△155,051	△319	△155,392	△2,467	△2,467	45,300	△112,559
2007年9月30日残高	2,661,662	2,658,174	2,722,001	△19,217	8,022,621	800	800	45,300	8,068,721

(注)千円未満は切り捨てて表示しております。

■ 関連会社の概要 ■

株式会社 デン・ホケン

設立	2002年2月19日
主要な事業の内容	保険代理店業務
資本金(出資比率)	3,000万円(100%)

株式会社 スクリーン

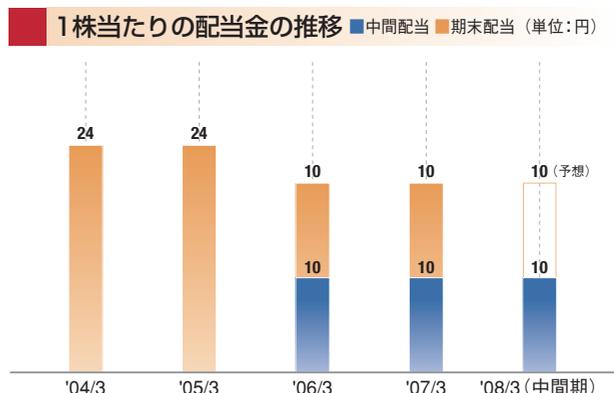
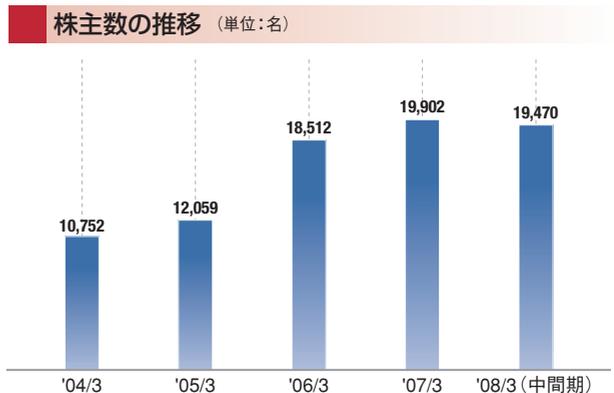
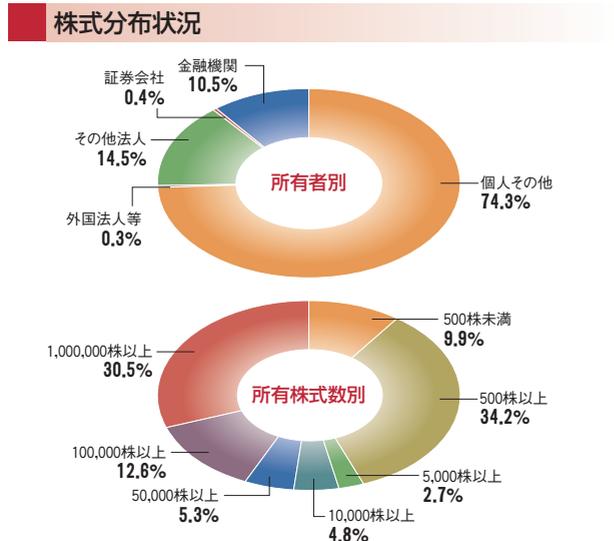
設立	2003年1月28日
主要な事業の内容	広告代理店業務
資本金(出資比率)	5,000万円(100%)

株式の状況

(2007年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数	16,268,441株
株主数	19,470名

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
新井田 傳	3,632,197	22.3
有限会社エヌテイ商事	1,336,101	8.2
日東富士製粉株式会社	445,830	2.7
株式会社東邦銀行	321,360	1.9
幸楽苑従業員持株会	292,097	1.7
株式会社大東銀行	266,825	1.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	153,900	0.9
岡田 甲子男	130,065	0.8
星 雄彦	130,019	0.7
株式会社大東リース	102,310	0.6



会社の概要

(2007年9月30日現在)

会社概要

商号 株式会社 幸楽苑
 設立 1970年11月11日
 主要な事業の内容 当社は、ラーメン店及びうどん・和食店のチェーン展開を主な事業とし、福島、宮城、山形、秋田、岩手、青森、栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、岐阜、新潟、山梨、長野、石川、富山、福井、京都、滋賀、大阪、奈良、兵庫の28都府県に店舗展開をいたしております。
 店舗数 381店舗 (直営店 355店舗、FC店 26店舗)
 資本金 26億6,166万円
 本店所在地 福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
 従業員数 980名
 上記従業員のほかに、臨時従業員2,992名(1日7時間45分換算)を雇用しております。



取締役及び監査役

代表取締役社長 新井田 傳
 代表取締役副社長 佐藤 清 (供給本部長)
 常務取締役 武田 典久 (管理本部長)
 常務取締役 柳内 豊樹 (開発本部長兼開発部長)
 取締役 室井 一訓 (社長室長)
 取締役 久保田祐一 (経理部長)
 常勤監査役 松本 廣文
 監査役 八島 彬乃
 監査役 林 平蔵
 監査役 遠藤 大助
 監査役 八島彬乃、林平蔵及び遠藤大助の三氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

渉外担当部長 青木 憲夫
 新規事業本部長 薄井 正則
 商品本部長 佐藤 修一
 京都工場長 武田 光秀
 総務部長 藤村 哲
 店舗運営本部長 伊藤 修一

店舗名	住所		
鈴鹿白子店	鈴鹿市寺家5丁目1-23		
津南店	津市雲出本郷町1760-1		
久見インターガーデン店	津市久見明神町2594		
松阪店	伊勢原市坪ノ内71-4		
四日市平町店	四日市市平町2-16		
四日市日永店	四日市市日永5丁目1番10号		
岐阜県 (8店舗)			
大垣中野町店	大垣市中野町2丁目87		
大垣南店	大垣市築捨町3-16-1		
アクアウォーク大垣店	大垣市林町6丁目80-21		
各務原店	各務原市鷺沼西町3丁目235-1		
岐阜宇佐南店	岐阜市宇佐南2丁目6-12		
岐阜大福町店	岐阜市大福町5丁目48		
美濃加茂店	美濃加茂市山手町2-43		
柳津店	岐阜市柳津町南塚4丁目3番3		
京都府 (1店舗)			
滋賀県 (4店舗)			
草津新浜店	草津市新浜町418-1		
草津矢倉店	草津市矢倉2丁目8-30		
彦根店	彦根市清原町768-3		
守山店	守山市播磨町1069-4		
大阪府 (10店舗)			
泉佐野店	泉佐野市南中安松660-1		
茨木店	茨木市島3丁目4-16		
茨木耳原店	茨木市南耳原2丁目8-31		
大阪狭山店	大阪狭山市池之原1丁目939-1		
貝塚店	貝塚市永吉66番		
河内長野店	河内長野市上原町470-1		
岸和田店	岸和田市東大路町11-1		
小阪店	東大阪市南上小阪10番67号		
枚方店	枚方市堂山2丁目36番20号		
八尾南店	八尾市相生町2-2-18		
奈良県 (3店舗)			
橿原店	橿原市十市町399-1		
奈良大宮店	奈良市大宮町4丁目334-1		
天理店	天理市三味田町1-1		
石川県 (3店舗)			
金沢泉本町店	金沢市泉本町6丁目81番地3		
金沢高尾台店	金沢市高尾台4-126		
小松店	小松市小松町西1-34-1		
富山県 (3店舗)			
高岡狹布店	高岡市狹布232番1		
富山空港通店	富山市布瀬町南2丁目9-1		
兵庫県 (8店舗)			
富山天王店	富山市天正寺1050番地		
福沢店	福沢市桜木宮前町49-2		
岡崎伊賀店	岡崎市伊賀町字7丁目83-1		
岡崎東店	岡崎市大字平町字杉本4-1		
岡崎矢作店	岡崎市矢作町字加藤畑65-6		
春日井篠木店	春日井市篠木町8丁目2834番1		
春日井若草通店	春日井市若草通2丁目26-1		
清州市役所通店	清州市八百富町8-23		
小牧店	小牧市下小針中島2丁目103-1		
瀬戸店	瀬戸市川北町1丁目7-5		
知立店	知立市山屋敷町見土93-1		
津島店	津島市埋田町1丁目78		
東海富木島店	東海市富木島町伏見3丁目9番2		
豊田下市場店	豊田市下市場町5丁目54-1		
豊田御立町店	豊田市御立町8丁目43-1		
豊橋岩屋店	豊橋市岩屋町岩屋7番15-21		
豊橋下地町店	豊橋市下地町宇宮藤11-2		
名古屋中区店	名古屋市中区区南町11-2		
名古屋緑区菟山3丁目202	名古屋市緑区菟山3丁目202		
名古屋浜田店	名古屋市浜田区浜田町2丁目28-1		
名古屋守山区森孝3丁目1031	名古屋市守山区森孝3丁目1031		
名古屋池沼店	名古屋市天白区池沼3-1912		
名古屋市港区春田町・330	名古屋市港区春田町・330		
半田市有楽町8丁目112-1	半田市有楽町8丁目112-1		
碧南市笹山町7丁目54-1	碧南市笹山町7丁目54-1		
北名古屋市市場町44-1	北名古屋市市場町44-1		
三重県 (8店舗)			
鈴鹿神戸店	鈴鹿市神戸3丁目26番20号		

伝八

店舗名	住所		
●モザイクモール港北店	横浜市都筑区中川中央1-31-1-2		
横浜店	津久井郡城山中原館2丁目2806-1		
湘南台店	藤沢市湘南台5-36-5		
伊勢原店	伊勢原市坪ノ内71-4		
ジャスコ茅ヶ崎店	茅ヶ崎市茅ヶ崎3-5-16		
山梨県 (4店舗)			
竜王店	甲斐市万才748-1		
甲府伊勢店	甲府市伊勢1丁目5-4		
甲府向町店	甲府市向町字水川田1520-1		
塩部店	甲府市塩部3丁目15-12		
静岡県 (19店舗)			
磐田岩井店	磐田市岩井2019-8		
福田店	磐田市福田1362-3		
静岡国吉田店	静岡市駿河区国吉田1-145-1		
静岡清水インター店	静岡市清水区西久保方長45-7		
沼津大岡店	沼津市大岡2236番地の8		
沼津西沢田店	沼津市西沢田255-1		
志都呂店	浜松市西区志都呂町5560-1		
浜松駅南店	浜松市南区頭陀寺町274-3		
浜松幸店	浜松市中区幸5丁目1-10		
浜松佐鳴台店	浜松市中区佐鳴台1丁目6-6		
浜松西インター店	浜松市西区湖東町5649-2		
藤枝店	藤枝市上青島235-1		
富士蓼原店	富士市蓼原町1658		
富士仏法店	富士市仏法883-1		
富士宮店	富士市宮崎山見ヶ丘2-2		
●イオン富士南店	富士市敷島118-10		
三島富田店	三島市富田里町伝島5235-2		
三島南町店	三島市南町15-21		
焼津店	焼津市八幡3丁目3-12		
長野県 (10店舗)			
上田中央店	上田市中心東2番3号		
上田原店	上田市大字上田原439-1		
佐久平店	佐久市大字岩村田町中塚長1749-1		
塩尻灰丘店	塩尻市大字灰丘高字桔梗ヶ原1486-486		
千曲店	千曲市葉佐1561		
茅野店	茅野市本町西9番24号		
長野北長池店	長野市大字北長池字十二家裏1254-1		
長野徳間店	長野市大字徳間3127		
長野中御所店	長野市中御所3丁目8番3号		
松本平田店	松本市平田東2丁目18番3号		
愛知県 (28店舗)			
安城今本町店	安城市今本町3丁目17-30		
安城南町店	安城市南町4丁目36		
尾西店	一宮市三条字道東60-1		
稲沢店	稲沢市桜木宮前町49-2		
岡崎伊賀店	岡崎市伊賀町字7丁目83-1		
岡崎東店	岡崎市大字平町字杉本4-1		
岡崎矢作店	岡崎市矢作町字加藤畑65-6		
春日井篠木店	春日井市篠木町8丁目2834番1		
春日井若草通店	春日井市若草通2丁目26-1		
清州市役所通店	清州市八百富町8-23		
小牧店	小牧市下小針中島2丁目103-1		
瀬戸店	瀬戸市川北町1丁目7-5		
知立店	知立市山屋敷町見土93-1		
津島店	津島市埋田町1丁目78		
東海富木島店	東海市富木島町伏見3丁目9番2		
豊田下市場店	豊田市下市場町5丁目54-1		
豊田御立町店	豊田市御立町8丁目43-1		
豊橋岩屋店	豊橋市岩屋町岩屋7番15-21		
豊橋下地町店	豊橋市下地町宇宮藤11-2		
名古屋中区店	名古屋市中区区南町11-2		
名古屋緑区菟山3丁目202	名古屋市緑区菟山3丁目202		
名古屋浜田店	名古屋市浜田区浜田町2丁目28-1		
名古屋守山区森孝3丁目1031	名古屋市守山区森孝3丁目1031		
名古屋池沼店	名古屋市天白区池沼3-1912		
名古屋市港区春田町・330	名古屋市港区春田町・330		
半田市有楽町8丁目112-1	半田市有楽町8丁目112-1		
碧南市笹山町7丁目54-1	碧南市笹山町7丁目54-1		
北名古屋市市場町44-1	北名古屋市市場町44-1		
三重県 (8店舗)			
鈴鹿神戸店	鈴鹿市神戸3丁目26番20号		

店舗名	住所		
沼南町店	柏市箕輪字後原759-4		
若柴店	柏市若柴字須賀井226-15～19、21、22、23		
南柏店	柏市豊四季975-3		
水更津店	水更津市請西2丁目1-1、2、26、27		
君津店	君津市法木作1丁目1-55		
白井店	白井市根73-		
千葉加曾利店	千葉市若葉区加曾利町27-4		
千葉北インター店	千葉市花見川区三角町528、529-1、530-2		
千葉園生店	千葉市稲毛区園生町848-1		
千葉中央店	千葉市中央区神明21-9		
東寺山店	千葉市若葉区東寺山町443-1		
若松店	千葉市若葉区若松町2093-1		
富里店	富里市七楽550-43		
流山店	流山市流山6丁目702-1		
新習志野店	習志野市茜浜2丁目19-3		
幕張インター店	習志野市鷺沼3丁目17-22		
佐倉店	佐倉市上座588-2		
成田店	成田市不働ヶ岡2160-11		
成田空港通店	成田市土屋1189-11		
習志野台店	船橋市習志野1丁目10-3		
松戸五香店	松戸市五香7丁目3-1		
松戸南花鳥店	松戸市南花鳥1丁目6番地の3		
松戸ヶ崎店	松戸市ヶ崎3丁目3364-1		
茂原店	茂原市高野字地美1678-2		
八千代村上店	八千代市村上区画整理90街区9、10		
我孫子店	我孫子市高野1596-1		
印西ヒップホップ店	印西市原1丁目2-		
大網白里店	山武郡大網白里町伝島5235-2		
ロッソティ館山店	館山市八幡545-1		

東京都 (25店舗)

舎人店	足立区舎人5-21-1
道玄坂店	渋谷区道玄坂2丁目16-6
日本橋桜通店	中央区日本橋3丁目1-3
平河町店	千代田区神田平河町4-
中野駅南口店	中野区中野2丁目25-3
赤坂店	港区赤坂4丁目2-1
新橋森森店	港区新橋3丁目11-1田島ビル1、2F
六本木店	港区六本木7丁目14-13
青梅店	青梅市野上町3丁目1番6号
国立町インター店	国立市泉4丁目14番1号
小金井井町店	小金井市井町1丁目6番22号
国分寺並木店	国分寺市北町1丁目7-5
国分寺西店	国分寺市西町5丁目12-2
調布深大寺店	調布市深大寺東町8丁目2-1
八王子橋原店	八王子市橋原町570-1、571-1
東久留米店	東久留米市南町2丁目5-18
東大和町店	東大和市原町1丁目2-1
福生店	福生市大字熊川2011-1
武蔵村山店	武蔵村山市伊奈平1-2-1
百草園店	日野市百草254-2

- トヨーグード洋島店
 - 町田木曾店
 - 町田市成瀬店
 - 鶴ヶ島市大字高倉字三角原1239-8
 - 所沢市大字宇沼472-6他
 - 所沢市美原町4丁目2964-3
 - 戸田市下町2丁目12-12
 - 新座市馬場3丁目1-33
 - 蓮田市西新町2丁目127
 - 東松山市大字杉山836-1他
 - 三郷市駒形1181-1他
 - 八潮市中央4丁目1-1、2、3、28、29、30、33
 - 和光市下新倉4丁目24-12
 - 入間郡三芳町大字藤久保字西949-4
 - 北葛飾郡杉戸町大字堤根4672
 - 北葛飾郡鷲宮町大字鶴383-0

●イオンイ店舗
神奈川県 (22店舗)

厚木田村店	厚木市田村町4-23
厚木林店	厚木市林4丁目25番40号
東柏ヶ谷店	海老名市東柏ヶ谷5丁目19番28号
小田原成田店	小田原市成田795-1
小田原前川店	小田原市前川1196-5
川崎殿町店	八潮市川崎区殿町1丁目16番9号
川崎市中原区木月409-3	川崎市中原区木月409-3
相模原市高根1丁目7-3	相模原市高根1丁目7-3
相模原市橋本6-2-1	相模原市橋本6-2-1
秦野曾屋店	秦野市曾屋5908-2
秦野平沢店	秦野市平沢372-1
●秦野平沢店	大和市福田5687-1
杉田店	横浜市磯子区杉田1丁目14-9
綱島店	横浜市港北区綱島西5丁目11-4
戸塚原宿店	横浜市戸塚区夤俊野町1003-3
横浜井田店	横浜市青葉区窪田町420-5
横浜戸塚店	横浜市戸塚区柏尾町959

店舗名	住所		
日立相田店	日立市相田町3丁目11番17号		
日立多賀店	日立市多賀3丁目7-10		
ひたちなか店	ひたちなか市東石川3丁目22-3		
水戸石川店	水戸市石川1丁目4009-8		
水戸末広店	水戸市末広町2丁目3-11		
水戸住吉店	水戸市住吉町97-1		
元吉田店	水戸市元吉田字一本松320		
守谷店	守谷市松ヶ丘4丁目6-1		
結城店	結城市大字結城8605-2		
高萩店	高萩市東本町3丁目73		
神栖店	神栖市平泉字長太郎2436-1		
潮来店	潮来市辻360-1		
北茨城店	北茨城市中郷町上桜井字細谷2824		
那珂市菅谷1593-1	那珂市菅谷1593-1		
那珂郡東海村村松北1丁目1-26	那珂郡東海村村松北1丁目1-26		
茨城県 (11店舗)			
●茨城東海店			
連取店	伊勢崎市連取町766-15		
高崎店	高崎市大橋町55-1		
高崎緑町店	高崎市緑町4丁目11-4		
成島店	高崎市成島町2571-1		
上泉店	前橋市上泉町676-1		
川原店	前橋市川原町388-32		
前橋石倉店	前橋市石倉町3丁目10-3他		
大泉店	邑楽郡大泉町坂3丁目13-342		
群馬馬場店	群馬市東区馬場町629-1		
新町店	高崎市新町字町南1656-6		
●マークシティ桐生店	桐生市相生町1丁目124-1		

埼玉県 (37店舗)

上尾店	上尾市大字久保75
上尾原市店	上尾市大字原市249番地1
入間店	入間市大字小川町6099-14
武里店	春日部市備後東5丁目373他
豊町店	春日部市豊町5丁目20
比呂モール加須店	加須市下高柳1丁目29
川越木野目店	川越市大字木野目373-1
西川越店	川越市大字小ヶ谷259-1
北本店	北本市深井7丁目225、226
熊谷新島店	熊谷市新島字宇井下12-1
熊谷サテイ店	熊谷市本宿2-135
吹上店	鴻巣市新宿2丁目19街区17
越谷大間野店	越谷市大間野町1丁目161-1他
越谷神明店	越谷市神明町2丁目70
岩槻インター店	さいたま市岩槻区加倉4丁目24-8
浦和さいど店	さいたま市緑区道祖土3丁目5番18号
日進町店	さいたま市北区奈良町55-1他
三橋店	さいたま市緑区芝原3丁目235-1
三橋店	さいたま市大宮区三橋2丁目446-1
さいたま市西区大字指郷2385-3	さいたま市西区大字指郷2385-3
幸手東2丁目670-3、4、5、6、7、8、9、10	幸手市東2丁目670-3、4、5、6、7、8、9、10
志木市大字伊奈平1-2-1	志木市大字伊奈平1-2-1
狹山市新狭山2丁目4-4	狹山市新狭山2丁目4-4
志木市中宗園4丁目7-3	志木市中宗園4丁目7-3
鶴ヶ島市大字高倉字三角原1239-8	鶴ヶ島市大字高倉字三角原1239-8
所沢市大字宇沼472-6他	所沢市大字宇沼472-6他
所沢市美原町4丁目2964-3	所沢市美原町4丁目2964-3
戸田市	戸田市下町2丁目12-12
厚木店	新座市馬場3丁目1-33
蓮田店	蓮田市西新町2丁目127
東松山店	東松山市大字杉山836-1他
三郷店	三郷市駒形1181-1他
八潮中央店	八潮市中央4丁目1-1、2、3、28、29、30、33
和光新倉店	和光市下新倉4丁目24-12
入間郡三芳町	入間郡三芳町大字藤久保字西949-4
北葛飾郡杉戸町	北葛飾郡杉戸町大字堤根4672
北葛飾郡鷲宮町	北葛飾郡鷲宮町大字鶴383-0

千葉県 (35店舗)

市川市北方町4丁目1954-1	市川市北方町4丁目1954-1
市原市五所字新田1665-2他	市原市五所字新田1665-2他
市原市古市場店	市原市古市場167-1
市原市ちはら台西3丁目4番地	市原市ちはら台西3丁目4番地
柏市吉野沢1番13号	柏市吉野沢1番13号
柏市酒井根1丁目1-12	柏市酒井根1丁目1-12

店舗名	住所		
名取店	名取市上余田字千刈田705-1他		
矢本店	大蔵島市大曲字堺場148-1		
古川店	大崎市駅東2丁目5-26		
古川バイパス店	大崎市古川大字3丁目8-12		
●ロックシティ佐田店	登米市南方町新島前1-15-1		
●築館店	宮城県東原市築館字留場桜5-7		
大和町店	黒川郡大和町吉岡字東車庫36-9		
柴田店	柴田郡柴田町西船迫1丁目1-6		
利府店	宮城郡利府町		